

Vol.67

| | |
|-------|---|
| メタデータ | 言語: jpn 出版者: 公開日: 2023-03-14 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属: |
| URL | http://hdl.handle.net/2297/00068906 |

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



資料館だより



カザン大学寄贈の「木彫」
[1999(平成11)年]

CONTENTS

- 1… TOPICS
- 2… 展示活動報告／資料貸出／来訪者
- 3… 投稿／シンポジウム開催報告／開催案内
- 4… 開催案内(つづき)／移管・寄贈資料

TOPICS

特別展「サイエンスイラストレーションで魅せる古生物学 —竜骨群集と鯨骨群集：首長竜、ウミガメ、クジラの遺骸に群がる生物—」を開催



令和4(2022)年7月20日から10月21日にかけて、特別展「サイエンスイラストレーションで魅せる古生物学 —竜骨群集と鯨骨群集：首長竜、ウミガメ、クジラの遺骸に群がる生物—」を開催しました(写真1)。これは、本学理工学域地球社会基盤学類のロバート・ジェンキンス先生の企画・監修によるものです。白亜紀に生きていた首長竜やウミガメなどの遺骸周辺に形成される生態系について、化石標本と復元画を用いて分かりやすく紹介しました。

この特別展にあわせた関連イベントとして、7月28日にサイエンスイラストレーターの菊谷詩子先生によるワークショップ「化石を描く！—古生物研究のきほん—」(写真2)、7月30日にジェンキンス先生による特別講演会「サイエンスイラストレーションで魅せる古生物学：首長竜遺骸に形成された竜骨群集」(写真3)を開催しました。コロナ禍に入って実に2年ぶりのワークショップ・講演会が実現しました。

特別展・ワークショップ・特別講演会のいずれも大変好評で、中には小学生のリピーターもいました。



展示活動報告

アウト
リーチ展

出張写真展「あのころの金沢大学」開催

会期 令和4年10月21日～11月14日 会場 金沢城公園河北門

今年度も、ホームカミングデイにあわせた出張写真展「あのころの金沢大学」を金沢城公園で開催しました。昨年度は諸般の事情で鶴の丸休憩館を会場としましたが、今年度は従来通り、河北門二の門での開催です。金沢大学の過去の姿を懐かしんでいただくために、城内・医学・工学・薬学の各キャンパスの写真を約40枚厳選してパネル展示しました。どの写真を見ても、昔の金大生の活気あふれる様子がよく伝わってきました。



美術展

「金沢大学美術コース展」開催

会期 令和4年10月26日～11月4日 会場 資料館展示室

10月26日から約1週間、本学人間社会学域学校教育学類美術教育専修による絵画・彫刻・デザイン作品展「金沢大学美術コース展」を開催しました。今回も昨年度と同様に、美術教育専修のi-Acanthus Ars展と附属小学校のかしわ展の合同展示です。美術コースの学生・教員・卒業生の作品と子どもたちの作品が、資料館展示室を美しく彩りました。



資料貸出

一乗谷朝倉氏遺跡出土資料を貸出し、新博物館で展示

当館には、福井県福井市の一乗谷朝倉氏遺跡から出土した遺物がコンテナ約30箱分収蔵されています。これらは、昭和45(1970)年に本学の井上鋭夫先生が同遺跡を緊急発掘した際の出土品です。今年度10月1日に一乗谷朝倉氏遺跡博物館がオープンするにあたり、開館記念特別展の展示品として当館所蔵資料をお貸ししました。^{しやくだにいし}笏谷石製の阿弥陀如来像石板をはじめとして、越前焼、銭貨等が久しぶりに里帰りしました。資料たちもきっと喜んでいてことでしょう。

来訪者

大石 敬さん学長室表敬訪問

今から約150年前、本学の前身校である英学校、啓明学校、そして石川県中学師範学校で教鞭をとった英国出身のお雇い外国人エドワード・ランバート (Edward Brewer Lambert, 1846-1897) 氏の孫にあたる大石敬氏夫妻が10月24日に来学し、学長室を表敬訪問されました。資料館で平成30年に開催した展覧会「お雇い外国人と石川の近代教育～ランバート、ホイットニー、ウインの仕事～」でランバート氏を取上げた事がきっかけで、孫にあたる大石氏との繋がりに発展し、本学訪問が実現しました。表敬訪問では、ランバート氏の関連資料を前に歓談、学長から記念品が贈呈されました。本学にゆかりのあるお雇い外国人、特に在任期間が明治初期の人物の近親者の訪問は稀有で、貴重なお話を伺うことができました。



学生企画展を通して感じたこと ～令和4年度学生企画展「交談」～

【全体を振り返って】

今回の学生企画展は、とにかく企画展の方向性をひとつに決めるまで長くかかりました。「交談—金大今昔国際交流ばなし—」という企画は、その状況のなかでもなるべく多くの実習生の意見を取り入れたものになっています。スケジュールも詰まったなか、実習生全員がこだわりをもって展示作業を行うことができたことは良かったと思っています。

私自身としては、全体のリーダーとして作業の進行をとりまとめたり、企画書を作ったりしました。実習生ひとりひとりが率先して動いてくれたおかげで、企画展も形になり、先頭に立って引っ張ることが不得意な私にとって良い経験となりました。

今回企画展を実施するにあたって先生方、資料館職員の方々、TAの岡部さんに様々な面でサポートしていただきました。心より感謝申し上げます。



人間社会学域人文学類 4年 菅原瑞穂

【副リーダー・デザイン班の作業を振り返って】

学生企画展での作業は、副リーダーとして上級生をまとめる立場に立ったこと、デザイン班でAdobeのソフトを使用したことなど、初めての連続でした。私が未熟だったにも関わらず、企画展が成功したことは、やはり周囲の力があつたからだと思います。作業を率先してやってくれた先輩方、意欲的に参加する同級生の姿に、自分も頑張らねばと何度も鼓舞されました。また、進行で困ったときには、先生方やTAの先輩にも大変お世話になりました。この経験から言えることは、初めてだからと挑戦することをあきらめる必要はないということです。

もし、この記事で下級生だからとまとめ役に回るのを遠慮している人や、ソフトを使ったことがないからとデザインに携わるのをためらっている人の背中を押すことが出来ていれば幸いです。

人間社会学域人文学類 3年 梶谷麻衣

シンポジウム開催報告

「近代化遺産シンポジウム金沢2022 第四高等学校・旧制金沢医科大学が紡いだ時代—教育、哲学、そして風景—」を開催

11月27日、文化庁InnovateMUSEUM事業の助成を受けて、宝町キャンパス十全講堂にて「近代化遺産シンポジウム金沢2022」を開催しました。

第四高等学校・旧制金沢医科大学ゆかりの近代化遺産を題材として、専門家による4本の講演と討論会を実施し、159名もの参加がありました。

シンポジウム終了後にキャンパスツアーも実施し、宝町キャンパスに残る近代化遺産を学内外の方々に知っていただく良い機会となりました。



開催案内

アウト
リーチ展

四高記念館アウトリーチ展2022「バックヤードの動物たち」

会期 令和5年1月20日～2月19日 会場 石川四高記念文化交流館 多目的利用室1

3年ぶりに街中の石川四高記念文化交流館でアウトリーチ展を開催します。本展は、大学が継承する貴重な資料を市民や観光客に公開し、大学資料館について広く周知することを目的としています。

今回は第四高等学校の生徒たちが観察し学んだ、剥製標本を展示します。最も古い「チョウザメ」は、明治38(1905)年に作られたものです。四高生は剥製たちを眺めながら、見たことのない動物がいる広い世界を想像したことでしょう。

長年教材として利用され、今はその役目を終え、普段はひっそりとバックヤード(収蔵庫)で暮らす動物たち。この機会にぜひ会いに来てください！



チョウザメ標本

文化庁Innovate MUSEUM事業の一環として、後期企画展「金澤モダン～金沢大学ゆかりの近代化遺産・近代遺跡を訪ねて～」を開催します。第四高等学校や旧制金沢医科大学、金沢大学に関する近代化遺産・近代遺跡を、写真パネルと関連資料を用いて紹介し、近代(modern periodモダン・ピリオド)における「金澤」の姿を描き出します。

また、四高や金沢大学に関する近代化遺産が移築されている博物館明治村と連携し、同村内の建築写真や所蔵図面も展示します。

春休み期間中の開催ですが、ぜひ足をお運びください。



医学類旧書庫

移管・寄贈資料

令和4年5月～令和5年11月
移管・寄贈資料

今期も貴重な資料を移管・寄贈していただきました。当館にて大切に保存し、活用させていただきます。ここに、改めて感謝申し上げます。

移管

- 金澤城辰巳用水石管 一式

理工系事務部総務課



寄贈

- HACHINDAR CHISH 登頂報告書
部報1、2、Vol.4(金沢大学山岳部)(9点) } 八木 豊夫氏
- 『あかしや 第十號』
八高競技班から四高競技班に宛てた挑戦状(2点)
四高、四高生、兼六園ほか金沢に関する写真等(130点) } 瓜谷 章氏
- 第四高等学校図書借用券
金沢大学教養部図書室外閲覧証
金沢大学電子計算機室 FORTRAN DATA SHEETおよびこれが梱包されていた封筒
「金沢大学理学部」等の記載のある封筒等一式(57点) } 牛島 顕氏
- 金沢大学理学部数学教室 角間移転前後の動画(VHS-Cテープ、DVD-R)(3点) 松村 昭孝氏
- 第四高等学校の写真 一般社団法人新潟今昔写真 富山 聡仁氏
- 『金沢大学 工学部 創立百周年記念誌 二〇二〇』(2点) 金沢工業会理事長 喜成 年泰氏

編集後記

今年度4月より資料館に配属されました西尾と申します。

資料館での仕事は、伝統ある金沢大学の歴史を学ぶことができ、とても充実した日々を過ごしております。今後、業務を通じて多くの知識を身につけていきたいと思っております。そして、資料館のお役に立てるよう努めてまいります。

どうぞよろしくお願いたします。(西尾 望)

金沢大学資料館だより

第67号 令和5年1月発行



【発行／編集】金沢大学資料館

〒920-1192 金沢市角間町
TEL 076-264-5215 FAX 076-234-4050
Mail museum@adm.kanazawa-u.ac.jp

<https://museum.kanazawa-u.ac.jp>